

ご挨拶

会派代表 秋山 勝則

新人議員2名が加わり、7名での志政会の政治活動がスタートしました。今後、各地域の情報・課題を広く共有し、調査研究・提言・要望・審議等の政策サイクルを進めてまいります。

全国的な課題でもあります、急激な少子高齢化を伴う人口減少社会、頻発化・激甚化する自然災害や異常気象、世界情勢の不安定化による物価や燃料費高騰など困難な問題に直面する今こそ、しっかりと前に進める政治が求められています。台風シーズンはまだ続きます。市民の皆様の安全・安心を最優先に捉え、磐田市の前進のため会派理念である「市民の声を聴き、未来に責任ある政治を」会派一丸となって実行してまいります。平素の活動へのご理解・ご支援を感謝するとともに、引き続き、ご支援・ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



秋山 勝則

市議3期

会派代表
議会運営委員長
民生教育委員
地に足を着けて、
磐田市を真っ直ぐ
前に！

小池 和広

市議3期

副議長
総務委員
変化する時代の中で、全ての世代が、この磐田の地を魅力に感じ生活できる街へ「志」から未来を。

鳥居 節夫

市議3期

予算決算委員長
総務委員
広報広聴委員
誰もが自慢できる磐田。居場所のある磐田。元気な磐田を創ります。

岡 實

市議6期

民生教育委員
市民目線を大切に「磐田市と地元の未来発展のため」頑張ります。

永田 隆幸

市議3期

建設産業委員長
議会運営委員
次の世代により良い磐田市をつなぐために。

伊藤 克之

市議1期

議会運営委員
総務委員
「みんなが好きな磐田・誇れる磐田」を目指してがんばります。

浦木 尚行

市議1期

建設産業委員
地域と共にひたむきに輝く磐田に向けて全力で取組みます。

会派重点政策 2025-2028年

長期テーマ



持続可能な
まちづくり

①教育環境の充実

- ◎部活動の地域展開
- ◎不登校児童生徒
増加への対応
- ◎小中一貫教育の充実



②安全・安心なまちづくり

- ◎防災・減災対策
- ◎国土強靭化の推進



③人口減少・少子高齢化への対応

- ◎人口増政策
(出生数増加・移住定住支援・転出抑制など)
- ◎地域ぐるみの子育て・高齢者支援
- ◎公共施設の統廃合と跡地利用



④新たな時代への対応

- ◎磐田市の新たな産業の探究
- ◎カーボンニュートラルへの対応
- ◎小規模多機能自治の推進



志政会のHP 政治を身近に感じていただくため、情報を発信しています。 磐田 志政会

検索

ご意見はこちらへ! Mail : info@iwata-shiseikai.info TEL0538-36-5548



要望から
実現へ!

安全・安心なまちづくり

緊急要望、予算化への政策 提言にて対策が実現!(一部抜粋)

水害対策

(排水能力強化)

- 大島排水ポンプ場新設
- 南部第一排水ポンプ場
バイパス水路



大島排水ポンプ場 南部第一排水ポンプ場
バイパス水路

要
望

酷暑対策

(学校体育施設空調設備設置)

- 学校体育施設
空調設備設置決定



空調設備体育館設置写真イメージ
(文部科学省資料)

防災力強化

(消防力強化)

- 消防職員確保
職員定数条例を改正



会派
視察

令和7年の視察報告 磐田市が進める「共創」を学ぶ

新潟県見附市 7/28

「スマートウエルネスシティー見附」

「住んでいるだけで健幸に暮らせるまち」

「食育」「運動」「いきがい」「検診」など生活密着施策を都市総合計画と連動して展開。

地域産食材の活用や運動ポイント制度、小児検診プロジェクト、高齢者の社会参加支援を導入。さらに市民の足となる移動手段を整備することで行動を誘導するしくみを作る。医療費や介護給付費が抑制されている。行政内部局横断で健幸都市を実現する体制を整えている。



新潟県三条市 7/29

「三条市経済ビジョン」と「人事部コンソーシアム」
産官学金民がつながり「人材」から「人財」へ

中小企業・小規模事業者で成り立つ「ものづくり」のまちは深刻な働き手の減少が見込まれる。地場産業の持続的発展には戦略的な経済ビジョンが必要。生産性向上などで得られた利益を「人」への投資強化で持続的成長を促進させる取組。三条みらい人材会議を経てあらゆる立場や規模を超えて参画者全員が主体的に活動する「人事部コンソーシアム」設立準備に至る。「人材」から「人財」への変化で地場産業の維持発展が見込まれる。



これまでの様子は三条市公式noteもご覧ください



群馬県前橋市 7/30

前橋市アーバンデザインプロジェクト

「民間主体の官民連携の「まちづくり」の実現」

まず市民や民間企業を中心となって「まち」を使いこなし経済循環を促すことで元気になる仕組みを構築。行政が寄り添う形で支援を考え導く「まちづくり」。ソーシャルインパクトボンド方式の採用で、これまでにない市民や企業の自由な発想を取り込み、資金や支援を個人と民間企業などで積み立て事業化し、継続的な再生事業を実現。



磐田市 新防災拠点づくり

磐田市消防庁舎整備 基本設計概要版

現在、今之浦にある消防庁舎は運用開始後42年を経過しており、庁舎周辺の地盤沈下や設備の経年劣化による不具合が頻発しており、24時間休まない施設でもあることから他の施設に比べ老朽化の進みは早まっています。

より効果的な施設にするため、基本設計を実施しました。

3つの設計方針

- ◆『迅速な出動』と『実践的な訓練』を実現する防災拠点
- ◆『環境親和型の ZEB Ready 庁舎』と
『健康で快適な環境』の実現



完成イメージ図

プロジェクト概要

近年の大型台風や多発する集中豪雨への対応、また、南海トラフ地震などの大規模災害への備え、さらに広域連携など、消防に求められている役割は年々高度化・複雑化しています。

新しい消防庁舎はあらゆる災害に対して迅速に対応できる消防力の充実に加え、市民の日常的な防災教育や体験を通して、消防と市民の防災意識の共有が重要であると考えます。

市民の生命や財産を守るために日々の活動を身近に感じてもらうと共に、地域の防災力を高める磐田市の新しい防災拠点を整備します。



市民暮らしの 情報サイト



子育て応援



子育てに関する情報は
こちらから

教育委員会



不登校についての不安や
困りごとはこちらから

就活情報



磐田で働くを
全力応援



磐田市へのUターン就職
についてはこちらから